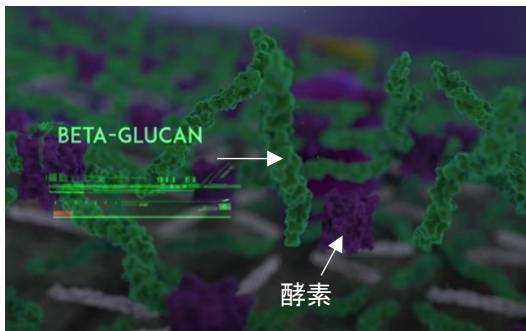




BG-MAX とは

BG-MAX は酵母細胞壁から酵素により抽出された精製機能性炭水化物 (RFCs™) とベントナイトの混合飼料で、カビ毒の吸着だけでなく、RFC によって腸の上皮細胞をカビ毒から守り、体内の他の器官へそれらの影響が広がるのを抑える働きが期待されています。

他製品で酵母細胞壁が含まれているものはありますが、BG-MAX では酵母細胞壁に含まれる β -グルカンなどの機能性炭水化物 (RFC) を酵素の働きで分解し、カビ毒対策に最適な形に変えて提供されています。



酵素の働きで β -グルカンを分解

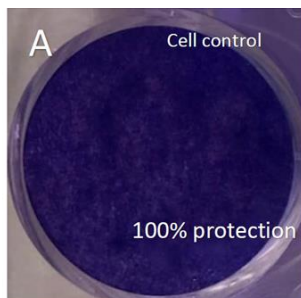


どこで切断するかで機能が変わる

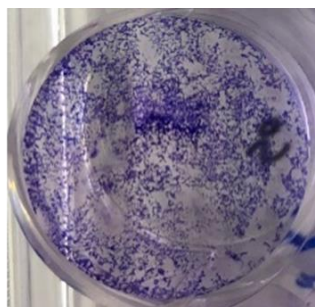
製品評価方法

試験管内でどれだけのカビ毒を吸着するかという試験は、条件次第で結果が異なるため正確に製品の評価をできません。そこで BG-MAX については、カビ毒によって細胞がどれくらい破壊されるか、またその破壊からどれだけ守られるかを評価しています。

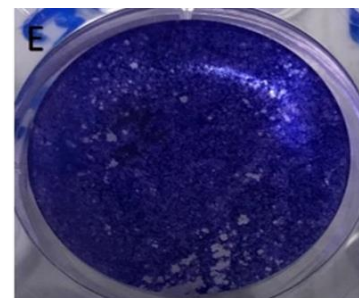
生きた細胞は染色液で染めることができるので、カビ毒と細胞を同時に培養し、その結果を見たところ、細胞とカビ毒と一緒に培養した場合、多くの細胞が破壊されますが、そこに RFC (BG-MAX 原料) が含まれるとほとんどの細胞が正常に保たれます。 *カビ毒はフモニシン B1 を 100 $\mu\text{g}/\text{ml}$



細胞のみ培養
100%生存



細胞+カビ毒
28%生存

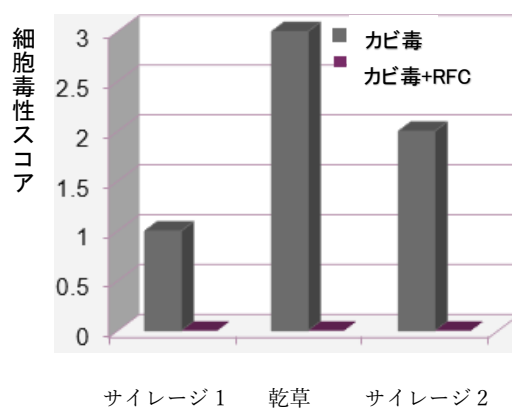
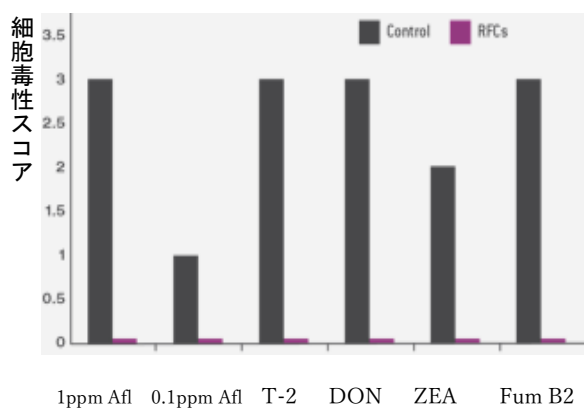


細胞+カビ毒+RFC
98%生存



細胞毒性スコアは腸管の上皮細胞がどれだけダメージを受けたか表したものです。
0 は正常な細胞、3 は破壊され死滅した細胞です。

試験データ



左は in-vitro で行った試験データで、右は生体で行った in-vivo データです。
共にカビ毒のみのグループでは上皮細胞に大きなダメージを受けていますが、RFC (BG-MAX) を添加したグループではほとんどダメージは見られません。

単純なカビ毒の吸着だけではなく、カビ毒から腸管を守ること、
腸管から他器官への流入を防止することがカビ毒対策では
大事になります。

BG-MAX で効率的にカビ毒対策をしましょう。



25kg 紙袋入り

* 推奨給与量

成牛: 30g/日 育成牛: 15g/日

発売元

日曹商事株式会社 **Nisso Shoji**
A Step Forward Together!

畜産資材課(東京) [TEL:03-3270-5503](tel:03-3270-5503)

札幌出張所 [TEL:011-281-5731](tel:011-281-5731)

販売店